



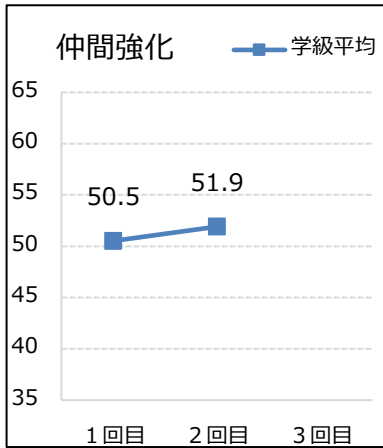
# 自殺予防教育プログラム実施報告書

学校名	鷹栖町立鷹栖中学校
-----	-----------

## (1) 教職員間の共通理解を図る研修等の実施

研修等の実施日	令和5年12月18日(月)	研修参加人数	21人
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自殺予防に関わる取組について</li> <li>・「こどもの自殺対策緊急強化プラン」について</li> <li>・自殺者の推移について</li> </ul>		
研修に参加した教職員の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の勤務校を含め、これまでの勤務校の中で自殺については、あまり考えていなかったが、より身近なものとして考えなければならぬと思った。</li> <li>・家庭の問題で悩んでいる生徒がいる際に、どのように家庭と連携を図るかが重要であり、難しさを感じる場所である。</li> </ul>		
研修等で使用した資料名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童生徒の自殺を予防するためのプログラム」(道教委)</li> <li>・「教師が知っておきたい子どもの自殺予防」(文科省)</li> </ul>		

## (2) 「自殺予防教育プログラム」の実施

	実施状況(主な実施内容、アセスメントツール等による生徒の変容、生徒の感想等)	
A 援助希求的 態度の 育成	<p>○ 実践の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「相談しやすい人間関係・方法・会話の仕方」等の望ましい人間関係の構築を目指し、第1学年の特別活動の時間において、学級担任が、ロールプレイングで会話のやりとりをしたり、グループワークで他者の考えを聞いたりする活動を通して、よりよい人間関係について考える実践を行った。</li> </ul>	 <p>【授業の様子】</p>
	<p>○ 生徒の変容を促す工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人によって様々な考え方や捉え方があることに対する理解が深まるよう、導入の段階において「人によって色が異なって見える画像」を紹介し、自分の見えているものが周りとは必ずしも同じではないことを実際に体験させる工夫をした。</li> <li>・道徳科の授業において、「上手な聞き方スキル」を再確認した上で、グループワークを実施した。</li> </ul>	 <p>【授業の様子】</p>
	<p>○ 生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年において、6月と9月に実施した「ほっと」の「仲間強化」の項目について、1.4ポイント増加するなど、入学当初は、周囲のことをあまり考えない行動も見られたが、仲間のことを考えられるようになった。このことが、今後、相談しやすい関係につながっていくと考えている。</li> </ul>	 <p>【第1学年「ほっと」の変容】</p>
	<p>○ 生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が自分に対して「話したい。」と思えるような声をかけられるようになりたい。</li> <li>・今までは、相談してくれた友達の話がうまく聞けなかったのですが、どのように応えたらよいかについて深く考えることができてよかった。</li> </ul>	

- 実践の概要
  - ・「心の黄色信号」をキーワードとして、生徒が「いのちの危機の一つ」である「自殺」について考える機会とすることを目指し、第1学年の保健体育科において、教科担任がストレスの原因と心身への影響について学ぶ授業を行った。
- 生徒の変容を促す工夫
  - ・生徒の必要感が高まり、学びが深まるように、指導者側から「自殺」というキーワードを提示するのではなく、ストレスが心身に及ぼす影響について学ぶ過程の中で、過度なストレスが「自殺」につながることに生徒が気付くよう工夫した。
  - ・生徒自身のストレスと心身の変化について、日頃の自分の経験から考えさせることにより、多くの生徒が「自殺」を身近なこととして考えることができた。
- 生徒の変容
  - ・授業前は、「ストレスは、全て悪い面しかない。」と考えている生徒が多くいたが、授業後は、「ストレスには、良い面もあり、ストレスとの付き合い方を自分なりに考えていく必要がある。」という考え方に変容している生徒が多くいた。
  - ・過度なストレスが心身に与える影響に関して、危機感を感じた生徒が多くおり、今後の自分の心身の健やかな生活に生かせるように、自分自身の心の状態を気にかけてようとする生徒も増えた。
- 生徒の感想
  - ・これから生きていくときに、もっと大きなストレスを抱えると思うので、自分なりにストレスを発散する方法を見付けようと思いました。また、これから一人暮らしなどになったときに、近くに相談できる人がいなくても、メッセージアプリなどで話を聞いてもらったりしようと思いました。
  - ・ストレスはためすぎると、良くないことにつながるから、ストレスが限界までたまる前に、発散したり少しでも軽くなったりするようにしたい。自殺する人が多くてびっくりした。自分の周りの人が困っていそうだったら、相手のことを考えて声をかけようと思った。